

令和 6 年度 今宮工科高等学校
第 3 回 学校運営協議会（定時制部会）（議事録）

日 時 令和 7 年 3 月 1 日（土） 13 時 ～ 15 時
会 場 大阪府立今宮工科高等学校 体育館「卒業式来賓出席」
視聴覚室
出席委員 5 名
事務局等 2 名

1 准校長あいさつ

2 令和 6 年度 学校経営計画及び学校評価(案)（資料①）

（事務局）

- ・資料①の「3 本年度の取組内容及び自己評価」について「中期目標」の各項目について本年度の取組について報告を行い「自己評価」の評価理由等の説明を行う。

（委 員）

- ・アルバイトに取り組もうとしている生徒で、面接に行くがうまくいかないといった生徒はいるか。また、そういった生徒に対して学校として何か取り組みをしているのか。
- ・アルバイトに就いている生徒はどのようなアルバイトをしているのか教えて欲しい。

（事務局）

- ・1 年生で面接に行ってアルバイトに就くことができないといった報告は、本年度、受けていない。
- ・今年度の傾向として、学校が始まるまでの時間で、体を動かす（スポーツ等）ことを望んでいる生徒が多く感じている。
- ・コンビニエンスストア、飲食店等でアルバイトをしている生徒はいる。

（委 員）

- ・定時制の課程において勤労というキーワードがよく出てくる。しかし、昼の高校に通うことに困難さを感じている生徒が定時制に通うようになっている。アルバイト以外にも午前中の過ごし方は様々になっているため、アルバイトの数値目標は検討が必要ではないか。生徒のやりたいことを伸ばしてやってほしい。
- ・学校経営計画の『自尊感情の向上』の項目であるが、生徒会の生徒や活発な生徒の活動内容を数値目標とするのではなく、今までできなかった生徒が成長したなどの結果を自己評価にすることはできないか。数値化できない結果もあってもよいのではないか。
- ・中学校訪問は、准校長・教員の努力のたまもの。生徒層が変化していく中で、受け入れる生徒をケアしていくことを高校側からやっていくことは大切である。

令和 7 年度 学校経営計画及び学校評価(案)（資料②）

（事務局）

- ・資料②について資料①と比較し大きな変更点を中心にその理由等について説明を行う。

(委 員)

- ・特になし

3 学校の現状について（資料③）

(事務局)

- ・令和6年度の在籍数（令和7年2月28日現在）等について報告。

(委 員)

- ・学校に登校しづらい生徒を学校だけで抱えてしまうと教職員は疲弊してくる。学校との間に連携できる外部団体などがあると助かる。退学した生徒数などが学校の評価、世間の評判とならないようにしてほしい。

4 令和6年度 学校教育自己診断結果について （生徒用：資料④）（保護者用：資料⑤）

(事務局)

- ・令和6年度学校教育自己診断（生徒用・保護者用）の結果について報告。

(委 員)

- ・学校教育自己診断の学校ホームページ（HP）の項目は必要ないのでは。この数値が上がった、下がった、によって一喜一憂する必要はない。生徒や保護者が利用している端末で学校や企業のHPを見ることはほとんどない。管理職や教員にブログを沢山書いて更新してくださいといった業務が一番無駄である。入学を希望するする生徒はHPなど見ない。インスタグラムなどであれば、工業の実習の写真を1枚あげて少ないコメントで興味を引くことができる。だれが管理するかは問題になると思う。
- ・学校教育自己診断全般的な話となるが、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合算を肯定的回答としている。肯定的な回答が多いことは非常に喜ばしいことであるが、「よくあてはまる」の回答が少ない項目も要注意であると気付いてほしい。

5 授業アンケート結果について（資料⑥）

(事務局)

- ・令和6年度授業アンケートの結果について報告。

(委 員)

- ・特になし

6 その他

(委 員)

- ・生徒数が少ないからダメではなく、少数だからできることを考えて欲しい。多様な生徒一人ひとりに対応してやってほしい。
- ・この運営協議会の資料を作成するだけでも大変な業務である。必要なものを精査し、無駄を省き、子ども中心とした業務となっていただくことを願う。

7 閉会のあいさつ（准校長）